

北から南から

日本全国、海外から開通の話題

高規格道路・幹線道路など

(東北支部)
常磐自動車道(常磐富岡IC〜浪江IC)

震災や原発事故の影響で建設が遅れていた首都圏と東北地方の太平洋沿岸を結ぶ常磐自動車道が平成27年3月1日、全線で開通し、開通を祝う式典が開かれました。



開通式の様子(出典:国土交通省HPより)

常磐自動車道は、首都圏と宮城県の間、太平洋沿岸のおよそ300kmを結ぶ高速道路で、これまで開通していなかった福島県の常磐富岡ICと、浪江ICの間のおよそ14kmの間が新たに通行できるようになり、計画からおよそ50年を経て、全線で開通しました。

常磐富岡IC近くで行われた記念式典には、安倍総理大臣や内堀知事、それに沿線の住民の代表など、およそ100人が出席しました。

(関東支部)

首都高速道路 中央環状線全線開通

(中部支部)

- ・国道473号バイパス、市道原下衣文線(新学校橋)
- ・国道260号錦峠(南伊勢町柵橋竈地内1.8km)
- ・国道1号北勢バイパス(垂坂町〜山之色町1.4km)

(北陸支部)
能越自動車道 七尾氷見道路が全線開通

平成27年2月27日、能越自動車道七尾氷見道路の七尾IC〜七尾城山IC間(延長3.2km)と七尾大泊IC〜灘浦IC間(延長7.1km)が開通し、七尾氷見道路(総延長28.1km)が全線開通となりました。これにより、能登の観光地へのアクセスが向上しました。今回開通した七尾IC〜七尾城山IC間にはPC橋の城山高架橋が含まれています。

その他
・国道8号入善黒部バイパス(黒部市古御堂〜魚津市江口7.3km)



北陸地区 城山高架橋

(近畿支部)
京奈和自動車道 大和御所道路(御所IC〜御所南IC)開通

平成27年3月21日、大和御所道路自動車専用部の御所IC〜御所南IC(延長2.5km)が開通しました。翌日22日に、郡山下ッ道JCT〜郡山南IC(延長1.6km)も開通し、西名阪自動車道と交差する、奈良県初のJCT誕生となりました。

更に翌週の28日に大和区間内の天理王寺線〜桜井田原本王寺線間(延長3.5km)が開通しました。これにより、大和御所道路専用部の約6割が開通することになりました。

その他
・国道158号 中部縦貫自動車道永平寺大野道路(福井北JCT・IC〜松岡IC間)直結開通
・国道8号塩津バイパス(長浜市西浅井町塩津浜0.9km)



近畿地区 蛇穴1号橋



中国地区 三玉橋

(中国支部)
尾道松江線
(世羅IC〜吉舎IC)開通

平成27年3月22日、尾道松江線の世羅IC〜吉舎IC間(延長20.4km)が開通しました。この開通により尾道松江線が全線開通することになり、山陰と山陽、四国まで高速ネットワークが形成されました。

- その他
- ・東広島・呉自動車道(馬木IC〜黒瀬IC 8.8km)
 - ・仁摩温泉津道路(仁摩石見銀山IC〜湯里IC 5.9km)
 - ・一般国道191号下関バイパス(下関市汐入町〜安岡駅前二丁目間 5.8km)
 - ・国道2号玉島・笠岡道路(玉島西IC〜浅口金光IC 4.5km)



姫田Bランプ橋

(四国支部)

・徳島自動車道(鳴門JCT〜徳島IC)開通

- ・一般国道192号 徳島南環状道路(上八万IC〜徳島市八万町橋北間 2.2km)
- ・松山外環状道路インター線(市坪IC〜余戸南IC 1.8km)
- ・一般国道55号大山道路(安芸市下山〜河野 2.0km)
- ・国道11号大内白鳥バイパス(東かがわ市川東〜西村 1.2km)
- ・高知東部自動車道 高知南国道路(高知南IC〜なんこく南IC 4.7km)
- ・一般国道56号宇和島道路(津島高田IC〜津島岩松IC 3.5km)



九州地区 番匠川橋

(九州支部)
東九州自動車道
(佐伯IC〜蒲江IC)開通

平成27年3月21日、東九州自動車道の佐伯IC〜蒲江IC(20.4km)が開通しました。これにより宮崎市と大分市が高速道路でつながり、大分県内の東九州道は全線開通となりました。



鉄道 上野東京ライン

鉄道
上野東京ライン開業

平成27年3月14日、「上野東京ライン」が開業しました。上野〜東京間約3.8kmに新ルートが建設され、JR東海道本線と、東北本線・高崎線・常磐線が相互乗り入れを開始しています。今回開業した区間のうち、靖国通り付近から神田駅南側までの約1.3kmの区間には高架橋が新設され、中間付近約0.6kmは、東北新幹線の高架橋の直上に構築されました。

また、高架橋新設区間のうち、新幹線の直上となる区間を含む約0.75kmは19橋の単純桁橋などで構成されており、PC箱桁橋17橋と鋼桁橋2橋が、本工事に製作した移動式の桁架設機を用いて架設されました。

つばさ橋(ネアックルン橋)が開通

カンボジアの国道1号線のメコン川を跨ぐつばさ橋(ネアックルン橋)が完成し、平成27年4月6日に現地で開催式が行なわれました。

式典にはフン・セン首相、トラム・イウテック公共事業運輸大臣らカンボジア側出席者と、日本からは西村明宏国土交通副大臣、隈丸優次駐カンボジア王国特命全権大使が出席し、盛大に挙行されました。

この橋は、主橋部分は3径間連続PC斜張橋で、高さ121mの主塔2基がコンクリート製橋桁を支える構造です。コンクリート斜張橋での「支



海外 ネアックルン橋



式典の様子

間330m(2本の主塔の間隔)はアジアでも最大級規模を誇ります。アプローチ橋(PCI桁橋)は東側・西側を併せて1.5kmを越え、さらにアプローチ道路は全長3.0kmに及び、工事総延長は5.46kmに達する大規模工事でした。

1月には、橋の中央部で桁を結合する「閉合式」が行われました。その際に「つばさ橋」と正式に命名されました。併せて本橋が描かれたカンボジアの新500リエル紙幣(約15円)が発行されるなど、日本とカンボジアの友好のシンボルになることを期待されています。

タイ ノンタブリ橋供用開始

ノンタブリ橋はタイ王国初となるエクストラードーズド橋で、橋長460m、最大支間長200m、幅員33m、張出し架設工法の橋梁としてはアジア最大級の規模となります。



ノンタブリ橋



ノンタブリ橋 白バイに先導された渡初め

ベトナム ニヤタン橋開通

ニヤタン橋は、ソンホン川(紅河)を跨ぐ道路橋です。平成27年1月4日に開通式が開催されました。この橋梁が整備されることで慢性化するハノイ市の交通渋滞解消に寄与します。斜材を支える主塔は、高さ111mもあり世界有数の斜張橋です。



ニヤタン橋



式典の様子

支部活動の話題

高校生「橋梁模型」作品発表会
(東北支部)

高校生「橋梁模型」作品発表会
が平成27年2月12日にせんだいメ
ディアテークで開催されました。こ
れは、土木技術を学び将来の社会資
本づくりを担う高校生に、模型づく
りを通じて橋の種類や構造に関す
る知識を深めてもらうとともに、も
のづくりの楽しさを体験してもら
うことを目的として実施されていま



す。13回目となる今回は、東北6県
の20校から37作品の応募があり、当
日は一次審査を通過した作品が、一
般来場者による審査と審査員によ
るプレゼンテーション審査を経て、
最優秀賞・優秀賞・審査員特別賞な
どが決定しました。

最優秀賞には田村香奈さん、菅
原月野さん(秋田県立大館工業高
等学校土木・建築科3年)が製作し
た「西田橋」が選ばれました。「西
田橋」は鹿兒島市を流れる甲突川
(こうつきがわ)にかつて架かってい
た「甲突川五石橋」のひとつで、平成

5年8月6日の鹿兒島大水害の被
害を受け、現在は同市の石橋記念
公園に移設保存されています。
また、併せて開催された橋梁技
術講演会で、PC建協の山口技術
次長が「橋づくりの仕事」と題した
講演を行いました。
尚、東北支部では平成14年度か
ら高校生「橋梁模型」作品発表会
実行委員会(委員長 益子支部長)
の一員として作品発表会を共催し
ています。



各地にPC技術専門家が派遣
される
(北陸支部)

PC建協では、多くの学生にプレス
トレストコンクリートに興味をもつて
もらうことを目的として、PC技術専
門家を派遣して学生を対象とした講
座を開催しています。

北陸支部では、平成27年1月26日に
新潟大学工学部建設学科3年生14名
に、「プレストレストコンクリート橋の
架設工法と新技術・新工法」についての
講義を行いました。講義内容は、「PC
構造の特徴」「PC橋の架設」「新しいP
C橋」「橋梁以外のPC構造物」「新潟
県のPC構造物」の5項目でした。

各支部においても、学校にPC技術
専門家を派遣し、同様の講座を開催し
ています。



現場見学会開催 (中部支部)

平成27年3月10日に中部支部で、名古屋大学のコンクリート系講座の学生と教員を対象とした、新名神高速道路の橋梁工事を廻る現場見学会を開催しました。これは、中日本高速道路(株)名古屋支社四日市工事事務所と共催したものです。

見学会には、留学生2名を含む学生10名と教員4名が参加し、建設中の安楽川橋(PC波形鋼板ウエブ箱桁橋施工/三井住友建設)、朝明川



安楽川橋



朝明川橋

橋(鋼・PC混合3径間連続アーチ補剛箱桁橋施工/IHIインフラシステム・川田工業・川田建設特定JV)ならびに小牧高架橋(PCRC連続箱桁橋施工/清水建設)の3橋をバスで廻りました。

安楽川橋では供用中の新名神高速道路に挟まれた区間で施工中の橋脚工や基礎工を、朝明川橋では送り出し架設完了後の鋼桁とPC桁の接合部を、そして、小牧高架橋では橋面からワーゲンを使った張出架設の状況を見学しました。

熊本県橋梁技術説明会 (九州支部)

九州支部では、(一社)日本橋梁建設協会と合同で、熊本県橋梁技術説明会を熊本県共催のもと、平成27年2月20日に開催しました。対象者は、熊本県および県内の市町村に勤務する技術系職員の方で、若手から熟練技術者まで幅広い年齢層77人が参加されました。講習内容は、PC橋および鋼橋の理解度の向上を目的とし、一般的な基礎知識の説明、補修・補強工事の事例紹介、その工事を行ううえでの留意事項の説明など、多岐にわたる講習内容でした。

(一社)建設コンサルタンツ協会 との意見交換会を開催

設計者と施工者との技術的交流を目的とし意見交換会が開催されています。

(関東支部)

関東支部では、平成27年2月12日に、①設計図面に入れる注釈内容に関して②三者会議における設計思想説明会及び工事に関する発注方式に関して④PC建協技術相談窓口の運用に関して⑤橋梁工事費実績表のカテゴリー分けについて、意見交換を行いました。

(関西支部)

関西支部では、平成27年3月10日に、①建設コンサルタンツ協会の活動・取り組みについて②PC建協の活動・取り組みについて③建設コンサルタンツ協会とPC建協の今後の活動について(互いの協会および協会会員の技術力向上を目的とした活動)、意見交換会を開催しました。

(他支部)

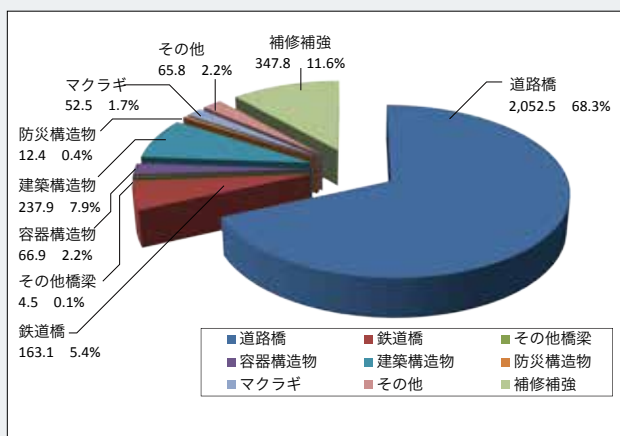
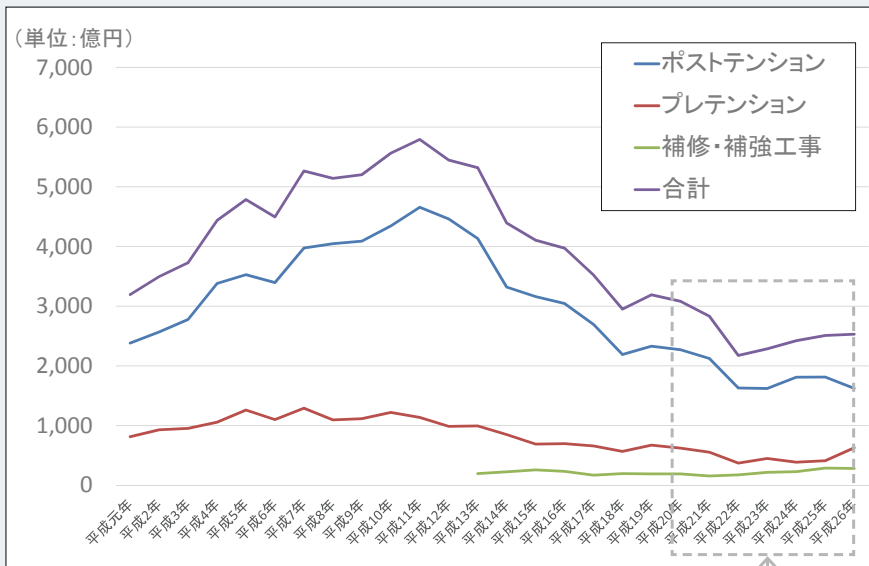
平成26年7月14日には、九州支部、平成26年9月12日には、中国支部で開催されました。



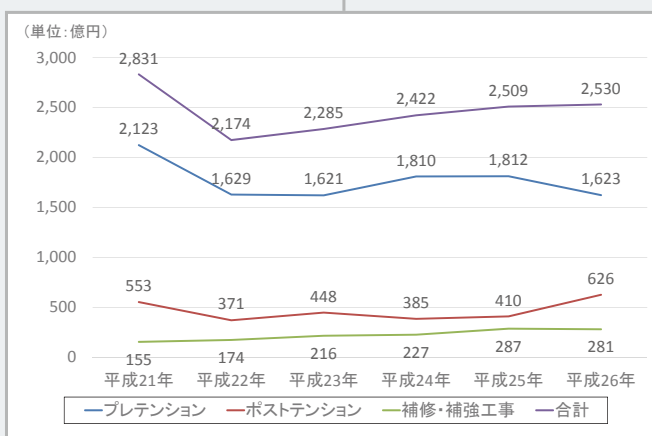
PC統計(受注実績)

平成26年度PC建協会員のPC関連の受注総額は、平成22年度以降4年連続して増加傾向にあり、2530億円(対前年比101%)となりました。

用途別では、道路橋は減少したものの、建築構造物266億円(156%)、容器構造物93億円(121%)となっています。



平成26年度用途別受注実績



年度別受注推移

- 編集委員会** 木下 賢司(編集委員長)、 櫻福 浄(編集副委員長)、 有馬 浩史、 竹本 伸一、 鈴木 義晃、 的場 純一、 松嶋 憲昭、 小山 康寛、 高松 正伸
- 編集幹事会** 手賀 由成(幹事長)、 松山 高広(副幹事長)、 廣部 永隆(副幹事長)、 白石 紀之、 俵 綾子、 南 浩郎、 浅見 聡、 大谷 圭介、 太田 誠、 吉田 健治、 清水 郁子、 山口 拓也、 西永 卓司

編集後記

今回の特集は、「北陸新幹線」が3月14日に開業したことを受け、開通フィーバーの余韻が残る3月に、北陸方面取材しました。創刊号では金沢県を中心とした特集でしたが、今回は富山県を中心に、富山湾に流れ込む河川に架かる北陸新幹線のPC橋をメインに紹介しました。新幹線が富山湾に面して走行する区間では、紹介した橋梁以外にも、数多くのPCの橋梁や高架橋が続き、新幹線の車窓から見える立山連峰の眺めは絶景です。お出かけの際はぜひ車窓からの景色も堪能いただければと思います。また、「特別企画」では、PC技術の伝承やこれからの時代を担う若者へのメッセージとして、女性技術者も含めたベテラン技術者の話を聞かせていただきました。「こんなところにもPCが!」では、噴水施設のPC技術を、「明日を築くプロジェクトの風景」では、離島を結ぶ橋として、日生(ひなせ)大橋と伊良部大橋を紹介しました。本誌をご覧になり、北陸新幹線を始めたとした様々な用途で使われているPC技術に興味を持たれ、一人でも多くの方がPCのファンになっていただければ幸いです。(西永)